

大切な中素材羽毛・ダウン

羽毛ふとんの中身

羽毛ふとんに使われるのは、ゲース・ガチョウや、ダック・アヒル・カモの水鳥の羽毛です。ニワトリのような陸鳥の羽は、保温力がなく、ふとんに適しません。

KAMEX インフォメーション

寒い地方の羽毛

保温力に優れるのは、寒い地方で育った水鳥です。ポーランド、ハンガリー、シベリアなどで育った水鳥や、中国北部の水鳥の羽毛が保温性に優れています。

KAMEX インフォメーション

ダウンとフェザー

ダウンは水鳥の胸部にある、タンポポ状の綿毛です。水鳥の肌着にあたるもので、羽毛の保温力の源です。フェザーは羽根、鳥の上着です。協同募金の赤い羽の大きさがスモールフェザー、昔の羽根ペンは、ラージフェザーです。 **KAMEX インフォメーション**

羽毛ふとんと羽根ふとん

ダウンを中心に（50%以上）作ったのが、羽毛ふとん。フェザー50%以上を羽根ふとんと言います。勿論、ダウンの羽毛ふとんの方が保温力が有り、値段も全く違います。

KAMEX インフォメーション

ダウンボール

ダウンはタンポポの綿毛のように、放射状のダウンボールを形成しています。大きなダウンボールは、保温力も優れています。 **KAMEX インフォメーション**

グースダウン

一般的にはグース・ガチョウのダウンが大きく、高級品は大切にハンドピック・手摘みされます。**KAMEX インフォメーション**

キングオブダウン

世界でもっとも高級な羽毛、アイダーダウン。北極海の島国、アイスランドに来る大型の野生のカモ、アイダーダックは、この北の孤島で卵をかえします。この鳥は極限の寒さから、卵を守り孵化させる為に、自分の綿毛をくちばしで抜いて巣を作ります。卵が無事にかえるのを見届けて、このダウンボールを集めたものが、アイダーダウンです。

KAMEX インフォメーション

アイダーダウンはいくら？

この貴重なダウンで作られたふとんは、1枚100万円以上！でも、長期間使うことを思えば、価値がありますね。アイスランドでは、結婚するとアイダーダウンのふとんを作り、中身を詰め替え大切に手入れをして、代々使ったそうです。

KAMEX インフォメーション

ニルスの不思議な旅

少年ニルスは、大きなガチョウに乗って大空の冒険の旅に出た！

KAMEX インフォメーション

アホウドリの悲劇1

伊豆七島に多く生息し、その優雅な姿を誇ったアホウドリは、ヨーロッパに羽毛を輸出する為に殺された。今は天然記念物に指定されたが、個人と、その一族で種を滅ぼした悲惨な例。**KAMEX インフォメーション**

アホウドリの悲劇2

空を飛ぶと優雅なアホウドリも、陸では体が大きく、ヨチヨチ歩きしか出来ない。だから、捕らえるのはたやすかった。その昔、島から飛び立つアホウドリの群れは、白い竜巻のようだったと言う。**KAMEX インフォメーション**

ジョン万次郎とアホウドリ

江戸時代、船が和歌山沖で、難破して漂流した万次郎達は孤島にたどり着く。この島にアホウドリが居て、それを食料にして万次郎達は助かった。実はアホウドリは産卵の為に島に来ていて、もう1週間すると育った若鳥達と、島から飛び立つ所だった。日本の歴史のキーポイントに、アホウドリが居た！**KAMEX インフォメーション**

ダウンの保温性

タンポポの綿毛のようなダウンボールは、軽く、空気を沢山抱え込みます。これが羽毛ふとんが軽くて、暖かい秘密です。**KAMEX インフォメーション**

軽い事は良い事。

ダウンが多く、軽い羽毛ふとんは身体を圧迫しないので、循環器系や呼吸器系に過度の負担をかけません。**KAMEX インフォメーション**

生きているダウン

ダウン・羽毛は、暑い時は閉じて通気性を良くし、水分を吸収して発散させる働きを持っています。**KAMEX インフォメーション**

1枚のふとんに150羽の水鳥が!!

ダウンは1羽の水鳥から、5～10gしか採れません。一般的な羽毛ふとんに必要なダウンは、1.3～1.5kg、水鳥約150羽分ものダウンが必要です。

KAMEX インフォメーション

量が多ければ良いの？

ふとんを同じようにたたんで、同じ嵩高があれば、ダウンボールが大きく、少ない量で嵩の有るふとんが良いふとんです。 **KAMEX インフォメーション**

生地も大切

羽毛は軽く、吹出しやすいので、羽毛を包むふとんの生地も大切です。軽いダウンの特性を生かし、吹出しを防ぐには、細く軽い糸を何本も縦横に打ちこんで、軽くしなやかで、目の詰まった生地を作ります。 **KAMEX インフォメーション**

日本で工夫されたキルト

カメックスの羽毛ふとんは、1つ1つのマスが独立し、表生地と裏生地の上に縦マチを入れた、立体キルトになっています。この方法だと、羽毛が他のマスに移動せず、縦マチがあるので羽毛が押さえつけられず、暖かさも均一です。 **KAMEX インフォメーション**

羽毛の値段

羽毛の種類が、グースかダックか、寒い地方か比較的暖かい地方か、飼育年数が長いか短いかなど、ハンドピックかマシンピックか、きれいに洗浄されているか、ダウンボールが大きいかなど etc で値段が決まります。それと、羽毛はすべて輸入品ですので、円がドルに対して高いか安いかなどでも、値段が大きく変わります。 **KAMEX インフォメーション**

羽毛の基準

日本は世界で1番厳しい羽毛の基準を採用しています。これは高価なダウンを扱う事と、湿度の高い日本の気候が、羽毛の基準に大きく影響するからです。

KAMEX インフォメーション

羽毛ふとんは干してはいけない??

そんな事は有りません、どんなふとんでも、太陽に当て干す事が大切です。紫外線は日光消毒に役立ちますし、湿気を含んだふとんを干す事で乾燥され、爽やかさがよみがえります。水鳥たちだって太陽は大好きですよ。スキーの時に着るダウンジャケットだって、強い日の光に1日中あたって何とも無いでしょう！きっと羽毛ふとんが普及する時、「余り干さなくても良い」と言ったのが、「干してはいけない」になってしまったんですネ。

KAMEX インフォメーション

羽毛ふとんと電気掃除機

電気掃除機でふとんの表面を吸取るとダニが取れるとあって、強力吸取りノズルの掃除機が売られています。でも、ふとんの生地は、軽さ、しなやかさと、中身の羽毛の吹出しを押さえる為の生地の打ちこみが、高次元でバランスを保っています。これを無理やり掃除機を何度もかけると、羽毛の吹出しが起きます。掃除機をかけるなら、カバーの上からかけてください。**KAMEX インフォメーション**

カメックスのパワーアップ加工

海外から輸入された羽毛原料は、現地でプレスされてコンテナで日本に運ばれます。一般的なふとんメーカーは、プレスされた羽毛をそのままふとんに詰めますが、カメックスでは、ダウンをよみがえらせる為に、パワーアップとオゾン処理加工を施します。

KAMEX インフォメーション